

八潮市の道路陥没事故を受けた下水道管路の緊急自主点検の実施について

1 緊急自主点検に至る経緯

本年1月28日、八潮市内において下水道管路の破損に起因すると思われる道路陥没事故が発生し、現在も現場対応が続いています。

国は、1日当たりの汚水処理量が30万立方メートル以上の処理場に接続する内径2000mm以上の大規模な下水道管路を有する下水道管理者に対し、緊急点検するよう要請がありました。

組合では国が要請する緊急点検に該当する管路は保有していませんが、2月5日及び6日に自主的に点検を行いました。

2 緊急自主点検の対象管路

設置から30年以上経過した重要な幹線及び主要な幹線管渠
(別紙のとおり)

3 緊急自主点検の内容

管路上部の道路陥没の有無及びマンホール周辺の陥没や破損等の有無について、職員による管路及びマンホールの目視点検

4 緊急自主点検の結果

直ちに対応が必要となる異常はありませんでした。

5 その他の対応

組合が管理する下水道管路については、坂戸、鶴ヶ島下水道組合公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、第1期計画(令和4年～令和8年度)として、敷設後30年以上経過した管渠及び重要な幹線を中心に点検・調査を行ない、第2期ストックマネジメント計画(令和9年～令和13年度)にて、第1期計画期間中で異常が見られた箇所について、緊急度や管渠の重要性に応じて、設計及び改築工事を実施していきます。



緊急自主点検実施箇所図